

Google初期設定 かんたんマニュアル

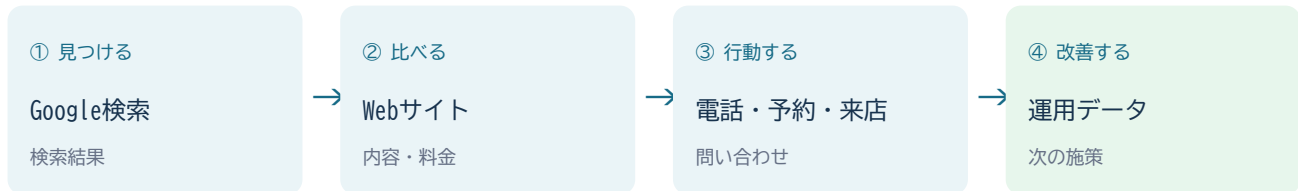
GA4・タグマネージャー・Search Console・Googleビジネスプロフィール
を、迷わず設定するための手順書です。

この1冊でできること

- ☐ アクセスを測る
- ☐ 検索状況を見る
- ☐ Googleマップを管理する
- ☐ しがみせへ安全に権限を渡す

最初に知っておく全体像

4つのサービスは、別々ではなく「見つける→見る→行動する→改善する」でつながります。



それぞれの役割

Googleビジネスプロフィール

Google検索・マップ上の店舗情報。営業時間、写真、口コミ、投稿、電話、経路案内。

Webサイト

商品・サービス、料金、強み、事例を詳しく伝え、電話・予約・フォームへ案内。

Search Console

検索前後を分析。「何と検索されたか」「何回表示・クリックされたか」を確認。

タグマネージャー (GTM)

Webサイト内に計測タグを設置・管理する配線盤。タグの追加・変更・公開をまとめる。

GA4

Webサイト訪問後を分析。「どのページを見たか」「問い合わせたか」を確認。

ポイント：Search Consoleは「サイトに来る前」、GA4は「サイトに来た後」を見る道具です。

お客様の流れとデータのつながり

どのツールが、どの場所の数字を記録するかを図で確認します。



数字を見て改善する

Search Consoleで「検索されたのにクリックされない」を発見 → タイトルや説明を改善

GA4で「料金ページは見られるが問い合わせが少ない」を発見 → 導線や説明を改善

GBPで「電話・経路・口コミ」を確認 → 写真、投稿、口コミ返信、店舗情報を改善

所有者は店舗。しがみせは必要なサービスへ「管理者」として招待され、作業します。

始める前に準備するもの

先に4点そろえると、途中で止まりません。

1

店舗用Googleアカウント

個人用と分けると、退職・担当変更時も安全です。二段階認証も設定します。

2

ホームページURL

例：https://example.jp/ https付きの正式URLを使います。

3

サイトを更新できる人

GTMのコード設置やSearch Consoleの確認が必要です。

4

店舗の正式情報

店名、住所、電話、営業時間、カテゴリ、Webサイトを用意します。

重要：パスワードは共有しません。各サービスの「ユーザー追加・管理者追加」を使います。

おすすめの作成順

① GA4 → ② タグマネージャー → ③ Search Console → ④ Googleビジネスプロフィール → ⑤ 権限共有

GA4を作る

ホームページを何人が見たか、問い合わせにつながったかを測ります。

1

analytics.google.com を開く

Googleアカウントでログインし、「測定を開始」または左下の「管理」を押します。

2

アカウントを作成

アカウント名は会社名・店舗名でOK。データ共有設定を確認して「次へ」。

3

プロパティを作成

プロパティ名=店舗名、タイムゾーン=日本、通貨=日本円を選びます。

4

ウェブ データストリームを作成

ホームページURLと店舗名を入力。「拡張計測機能」は通常ONのままで作成します。

完了の目印：「測定ID G-XXXXXXXX」が表示されたら、メモして次へ。

タグマネージャーを作る

計測タグをまとめて管理する箱を作ります。

1

tagmanager.google.com を開く

「アカウントを作成」を押します。

2

基本情報を入力

アカウント名=会社名、国=日本。コンテナ名=ホームページURL。

3

ターゲットを選ぶ

ホームページなら「ウェブ」を選び、「作成」を押して規約に同意します。

4

2つのコードを設置

表示されたコードをサイト担当者へ渡します。1つ目は<head>内、2つ目は<body>開始直後です。

完了の目印：画面上部に「GTM-XXXXXXX」が表示されます。

GTMにGA4を設定する

G-から始まる測定IDをタグマネージャーへ登録します。

1

「タグ」→「新規」

名前は「Googleタグ | 全ページ」など、用途が分かる名前にします。

2

「タグの設定」→「Googleタグ」

タグIDに、GA4で控えた G-XXXXXXX を入力します。

3

「トリガー」→「Initialization - All Pages」

すべてのページで計測を開始する設定です。保存します。

4

「プレビュー」で確認

ホームページURLを入力して接続。Googleタグが「発火したタグ」に出ることを確認します。

5

「公開」→「送信」

バージョン名に「GA4初期設定」などを入力して公開します。

注意：サイトへGA4を直接設置済みの場合、GTMでも入れると二重計測になります。先に確認します。

Search Consoleを登録する

Google検索で、どんな言葉から見られたかを確認します。

1

search.google.com/search-console を開く

左上のプロパティ選択から「プロパティを追加」を押します。

2

「ドメイン」を選ぶ

example.jp のように `https://` や末尾の `/` を付けず入力します。

3

DNSで所有権を確認

表示されたTXTレコードをコピーし、ドメイン管理会社・CloudflareなどのDNSへ追加します。

4

「確認」を押す

反映に時間がかかる場合は、設定を消さずに数分～1日待って再確認します。

迷ったら：「URLプレフィックス」で `https://` から始まるURLを登録する方法もあります。

サイトマップを送る

Googleへページ一覧の場所を知らせます。

1

サイトマップURLを確認

多くのサイトは `https://あなたのURL/sitemap.xml` です。ブラウザで開けるか確認します。

2

左メニュー「サイトマップ」

「新しいサイトマップの追加」に `sitemap.xml` を入力します。

3

「送信」を押す

状態が「成功しました」になれば完了です。すぐ検索順位が上がる機能ではありません。

4

月1回だけ確認

「取得できませんでした」やページエラーが出ていないか確認します。

完了の目印：送信されたサイトマップの「ステータス」が成功。

Googleビジネスプロフィールを整える

Google検索・マップに出る店舗情報を正しくします。

1

Googleで店舗名を検索

「このビジネスのオーナーですか？」が出る場合は、案内に従いオーナー確認します。

2

基本情報を正確に入力

店名、主カテゴリ、住所、電話、営業時間、Webサイトを実態どおりに統一します。

3

来店判断の情報を追加

外観・内観・商品・スタッフ写真、サービス、料金、予約URL、駐車場を追加します。

4

最新情報を確認

祝日営業時間、閉業表示、重複プロフィール、第三者による誤変更がないか確認します。

禁止：屋号への地域名・業種の詰め込み、実態のない住所、口コミへの特典提供。

しがみせへ権限を共有する

パスワードではなく、各サービスの招待機能を使います。

GA4

管理 → アクセス管理 → + → ユーザーを追加

推奨権限

閲覧・分析：閲覧者／設定：編集者

GTM

管理 → ユーザー管理 → + → ユーザーを追加

推奨権限

通常作業：編集・承認／公開作業：公開

Search Console

設定 → ユーザーと権限 → ユーザーを追加

推奨権限

通常確認：制限付き／改善作業：フル

GBP

☑ → ビジネスプロフィールの設定 → ユーザーとアクセス

推奨権限

運用代行：管理者

店舗オーナーは必ず自分のアカウントを残し、外部業者は必要最小限の権限にします。

最後の確認チェックリスト

全部にチェックが付けば初期設定は完了です。

- ☐ 店舗用Googleアカウントで二段階認証を設定した
- ☐ GA4の測定ID「G-」を確認した
- ☐ GTMのコンテナコード「GTM-」をサイトへ設置した
- ☐ GTMプレビューでGoogleタグが1回だけ発火した
- ☐ GTMの変更を「公開」した
- ☐ GA4リアルタイムで自分のアクセスを確認した
- ☐ Search Consoleの所有権確認が完了した
- ☐ sitemap.xmlを送信し、ステータスが成功になった
- ☐ GBPの店名・住所・電話・営業時間・URLが正しい
- ☐ パスワードを共有せず、必要な権限だけ招待した

困ったとき

- ・数字が出ない → GTMを公開したか、測定IDが正しく入っているか確認
- ・数字が2倍になる → GA4の直接設置とGTM設置が重複していないか確認
- ・Search Consoleを確認できない → DNSのTXT値と登録先ドメインを再確認
- ・GBPを管理できない → 現在のオーナーへ「管理者」の招待を依頼

設定が難しい場合は、しがみせへご相談ください。

<https://shigamise.tripleegg.jp/contact/>